

このチラシは、中央図書館が取り組んでいる起業支援のPRのために発行しているものです。今回は、まちゼミの応援、ビジネス書籍の紹介、セミナーの報告を掲載しています。

中央図書館がまちゼミを応援！！します

まちゼミとは

まちゼミとは、得する街のゼミナールを略したもので、商店街のお店が講師となり、プロならではの専門的な知識や情報、コツを無料で受講者（お客様）にお伝えする少人数制のゼミです。お店の存在・特徴を知っていただくと共に、お店（店主やスタッフ）とお客様のコミュニケーションの場から、信頼関係を築くことを目的としています。平成14年に愛知県岡崎市で始まり、『お客様』『お店』『地域』の三方よし活性化事業として注目され、現在、全国各地で開催されています。

長岡市では、平成26年から長岡まちゼミ実行委員会（長岡市商店街連合会内）が開催しています。第4回が1月25日（月）～2月24日（水）に開催予定で、健康・きれい、つくる・食べる、まなぶの三つテーマに30店舗が参加します（1月18日（月）から各店舗へ申込み）。

長岡まちゼミホームページ

→www.nagaoka-machizemi.com/

中央図書館に応援コーナーを設置します

全国200か所以上の地域で開催されているまちゼミのうち、一部の地域では、まちゼミの講座を支援する図書館所蔵のブックリスト（テーマにあわせて本を薦めたり、紹介するもの）

を作成し、活用しています。

中央図書館でも1月19日（火）から1階のビジネス書コーナーと郷土展示コーナーの一部にまちゼミの応援コーナーを新たに設けます（今後、取り組みの拡充も検討予定）。

ここには、開催される講座のテーマに関連したブックリストを置くほか、その中で紹介しているお薦めの本を一部展示します（貸出し可能ですが、館内閲覧のみの本もあります）。

各機関との連携など、ビジネス支援の情報は、長岡市立中央図書館のHPにも掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

長岡市立図書館ホームページ

→<http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/>



▲ブックリストのイメージ例
(テーマ別の本の紹介を掲載)

ビジネスのヒントは図書館にあり ビジネス情報を図書館で手に入れる!



『「コラボ」で革新 今どきの、発想読本』 高橋 宣行／著 PHP研究所

進化し続ける技術、商品、マーケティング。ビジネスの現場ではより一層、創造的な思考が求められるようになってきています。創造とは新しいものを創り出すこと。そのためのアイデアとは異質な情報と情報の組み合わせであること。すなわち異質である「外」を意識することが必然です。もっと「外」に目を向けてみませんか。「外」にあるリソース（資産）を組み合わせる新しい発想を生み出す考え方のススメ。



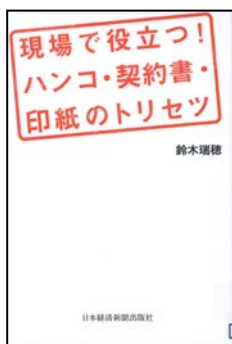
『社内プレゼンの資料作成術 3分で一発OK!』 前田 謙利／著 ダイヤモンド社

社長や経営者を納得させ、企画や提案を通すにはどうしたらいいか。ソフトバンクで鍛えられ、一発承認を獲得できるまでになった社内プレゼンのプロである著者が、そのノウハウを教えてください。シンプルでそしてロジカルな資料づくりを目指し、わかりやすいグラフの作り方、色の入れ方、文字の大きさなどの具体的方法が示されています。プレゼンだけでなく幅広い場面で参考になりそうです。



『ネット炎上対策の教科書 攻めと守りのSNS活用』 小林 直樹／著 日経デジタルマーケティング／編 日経BP社

度々世間を騒がせる「ネット炎上」。対応を誤ると会社存続の危機に陥ります。市場から一時消えることになった「カップ焼きそば」は記憶に新しいところ。また最近では、従業員によるSNSの書き込み等により会社に「飛び火」し「延焼」するなど、決して対岸の火事ではありません。ですが、ネットの活用は企業活動に必要で有効な手段でもあります。本書は積極活用する際のポイントも紹介されていますので、ぜひご一読ください。



『現場で役立つ!ハンコ・契約書・印紙のトリセツ』 鈴木 瑞穂／著 日本経済新聞出版社

認印、角印、代表社印、訂正印…さまざまな形態でハンコは企業活動、特に契約の場面で重要な役割を担います。本書は契約書の有効要件である印鑑や印紙の使用法をその理由とともにわかりやすく解説しています。宅急便の受領印や銀行の届出印など、身近な存在でなんとなく習慣で使用しているハンコ、そんなハンコとスッキリ付き合えるようになる一冊です。

中央図書館ではビジネスシーンで役立つ図書を集めた、「ビジネス図書コーナー」を設けています。会社・業界情報や、仕事術・スキルアップなど、実用的な図書を幅広く揃えています。今回も新しい本の中から、おすすめのビジネス書をご紹介します。



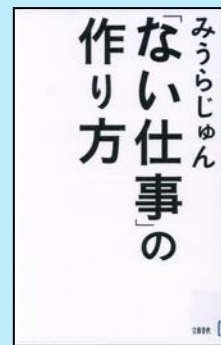
『「ポッキー」はなぜフランス人に愛されるのか？
海外で成功するローカライズ・マーケティングの秘訣』
三田村 落子／著 日本実業出版社

日本のお菓子業界を例に、海外で商品を売る秘訣を探っています。代理店や貿易会社まかせの販売による伸び悩みを乗り越え、メーカー自らが海外に打って出るなかで、現地の消費者に沿った商品、販売方法など、各企業の模索のようすが伝わってきます。県内からも岩塚製菓や亀田製菓が取り上げられており、米菓の海外進出の現状を知ることができます。



『「ない仕事」の作り方』みうら じゅん／著 文藝春秋

なにもないところからモノを創り出すということ—それは努力、閃き、センスの賜物。では「ない仕事」を作り出すということとは？かつて存在しなかった新しいジャンルを成立させ、世の中に発信してきたみうらじゅん。「ゆるキャラ」や「マイブーム」の仕掛け人の仕事術を自ら紹介した興味深い内容は、今までにないビジネス書と言えるでしょう。



『会社で役立つ日常業務の法律知識』6訂
矢野 千秋／著 清文社

文書・印鑑・契約・手形など、日常業務に欠かせない法律知識は意外と多いものです。本書では、まさに「これだけは知っておきたい」という点を解説。また、インターネットビジネスやPL法・独禁法・不競法など幅広い分野についても取り上げています。書式例や民法改正のポイント解説もあり、現場で役立つ一冊です。



■□■まだまだあります■役立つビジネス書■□■

- ・『不祥事に巻き込まれない技術 なぜ職場で嘘の報告が生じるのか』笹本 雄司郎／著 第一法規
- ・『ひとりビジネスの教科書 自宅起業のススメ』佐藤 伝／著 学研パブリッシング
- ・『最新事業計画書の読み方と書き方がよ〜くわかる本 社内新規事業からベンチャーまで』第3版 松本 英博／著 秀和システム
- ・『仕事力を高めるデジタル文章術』河口 鴻三／著 日本経済新聞出版社
- ・『「日本一の添乗員」が大切にしている接客の作法』原 好正／著 朝日新聞出版
- ・『日本初！たった1冊で誰とでもうまく付き合える世代論の教科書
「団塊世代」から「さとり世代」まで一気にわかる』
阪本 節郎・原田 曜平／著 東洋経済新報社



◆10/1 開催

「事業を生み出すのは“不平不満”のエネルギー」

主催：公益財団法人いがた産業創造機構（NICO）

共催：長岡市立中央図書館

講師：くらた まなぶさん

（株）あそぶとまなぶ代表取締役・NICO アドバイザー

参加人数：40名

講師のくらた先生は、学生時代に出版業界でアルバイトをしていて、作家先生に聞かれると図書館に通って調べていたとか。御用を聞きながら、歩くグーグルの如く頼りにされていたとのことで、改めて図書館は、調べものの力になれるのだなあと感じたといいます。

そして、話は本題の“不平不満”のエネルギーの話へ。まずユーザーの不平不満を探る（ヒアリング）、その不平不満をひっくり返し、明日の夢を創り出す（マーケティング）。それを形にする（マーチャンダイジング）。と、シンプルに説明され、自分の不満をひっくり返す演習をやってみました。

まず不満を100字で書きだす。それを50字にする。さらに25字に。それこそが逆に考えれば、求められている事業だということ。なるほど、不満に感じていることは、需要につながるのだなと、勉強になりました。

中央図書館主催(共催)による2つのビジネスセミナーを開催しました。その様子を、報告します。

◆11/5 開催

「ビジネスに役立つ行動経済学セミナー」

主催：長岡商工会議所、長岡市立中央図書館

講師：依田 高典さん（京都大学経済学部教授）

参加人数：98名

講師の依田先生は長岡のご出身。地元の話を変えながら、終始にこやかにお話をされていました。しかし経済学の話は、これでもかと嘔み砕いて説明いただいているのに、なかなか難しい・・・。

専門にされている「行動経済学」とは、人間の心理を実験で解き明かし経済に活かす学問とのこと。例えば、タバコはいくらなら禁煙しようと思うかを検証して、感情が意思決定に与える影響を経済に活かす、ということのよう。最近注目されているようです。心理学みたいで、興味深く感じました。

現在先生は、電力のフィールド実験から節電効果を検証し電力政策に活かす取り組みをされているとのこと。地球にも私たちにも優しい効果が期待されます。

主な著作：「行動経済学」（中央公論新社）、「次世代インターネットの経済学」（岩波書店） など



セミナー（長岡商工会議所 大ホール）

【編集後記】「まちゼミ」は、男女問わず、幅広い年齢層の方が参加しています。ゼミによっては、小学生の参加者もいるそうです。今まで知らなかった方や知ってはいたけど参加したことがなかった方も、ぜひ、この機会に参加してみたいかでしょうか。あわせて、図書館の関連コーナーも、ぜひご覧ください。(H)

平成28年1月15日発行

編集・発行：長岡市立中央図書館

〒940-0041 新潟県長岡市学校町1-2-2

TEL 0258-32-0658 FAX 0258-32-0664

E-mail: lib@city.nagaoka.niigata.jp

ビジネス支援の情報は下記からどうぞ

<http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>